

指定管理業務点検・評価シート（平成26年度業務）

平成27年9月2日

施設名	鳥取県立鳥取砂丘こどもの国	所在地	鳥取市浜坂 1 1 5 7 - 1
施設所管課名	子育て応援課	連絡先	0 8 5 7 - 2 6 - 7 8 6 8
指定管理者名	一般財団法人鳥取県観光事業団	指定期間	H18.4.1~H21.3.31（3年間） H21.4.1~H26.3.31（5年間） H26.4.1~H31.3.31（5年間）

1 施設の概要

設置目的	自然とのふれあいや遊びを通じて子どもたちが憩い楽しめる場を提供し、もって児童の健全な育成に資する。
設置年月日	昭和48年5月（平成12年3月リニューアルオープン）
施設内容	○敷地面積 ・県所有地（こどもの国敷地 193,315.49㎡、こどもの国北側臨時駐車場 37,899.960㎡の一部） ・鳥取市からの借用地 3773.79㎡ ○建築総面積 6,909.3㎡ ○施設内容 管理棟、そうぞう館、多目的ホール、砂の工房、木工工房、レストラン、こども広場、遊具広場、乗物広場、水の遊び場、こどもの国農園、杉の子ハウス、キャンプ場、わんぱく広場、ほうけん広場、駐車場
利用料金	別紙1のとおり
開館時間	通常：午前9時～午後5時 ゴールデンウィークの期間、盆の期間：午前8時30分～午後6時
休館日	毎月第2水曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その直後の休日でない日）12月29日～1月1日

2 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	○施設設備の維持管理（保守管理及び修繕、警備、清掃等） ○管理施設の利用の許可、退去の命令、施設利用料の徴収等に関する業務 ○その他管理施設の運営に関する業務（利用者の受付及び案内、安全確保、利用者へのサービスの提供、管理施設の利用促進等） ○管理施設を利用した自然体験等に資する事業に関する業務
---------	---

3 施設の管理体制

管理体制	正職員（常勤職員）：4人、臨時職員：12人、パート職員1人〔計 17人〕 詳細な配置は別紙2のとおり
------	---

4 施設の利用状況

利用者数（人）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	26年度		18,314	32,627	7,592	14,769	32,092	15,236	10,163	9,590	2,017	3,045	3,358	13,980
25年度		15,389	26,752	7,083	12,026	25,122	9,987	10,011	8,457	2,982	3,579	3,506	13,480	138,374
増減		2,925	5,875	509	2,743	6,970	5,249	152	1,133	-965	-534	-148	500	24,409

利用料金収入（千円）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	26年度		5,645	11,068	3,303	5,352	9,767	6,583	4,601	3,815	882	1,190	976	5,786
25年度		5,852	10,437	3,496	4,774	11,464	4,753	3,769	2,861	1,414	1,016	955	4,587	55,379
増減		-207	631	-193	578	-1,697	1,830	832	954	-532	174	21	1,199	3,589

5 収支の状況

区 分		26年度	25年度	増 減	
収入	事業収入	入園料収入（キャンプ場 利用料収入含む）	27,191,880	25,870,010	1,321,870
		遊具使用料（バッテリー カー等使用料）	14,276,020	13,414,200	861,820
		工房収入（砂工房・木工 工房利用料）	9,693,330	8,354,530	1,338,800
		参加料収入（友の会会 費、体験イベント参加 料）	3,196,902	3,672,840	-475,938
		売店営業収入	554,287	428,092	126,195
		レストラン収入（レスト ラン施設使用料）	207,961	214,301	-6,340
		その他収入（手数料収 入、自動販売機等手 数料）	3,848,084	3,425,131	422,953
	小 計	58,968,464	55,379,104	3,589,360	
	事業外収入	県委託料	86,802,000	78,162,000	8,640,000
		小 計	86,802,000	78,162,000	8,640,000
計		145,770,464	133,541,104	12,229,360	
支出	人 件 費	60,925,009	61,959,015	-1,034,006	
	施設維持管理費	47,390,293	41,182,365	6,207,928	
	イベント経費	17,739,413	15,562,353	2,177,060	
	工房運営費	3,292,622	2,535,213	757,409	
	売店運営費	500,342	319,782	180,560	
	計	129,847,679	121,558,728	8,288,951	
収 支 差 額		15,922,785	11,982,376		

6 労働条件等

確認項目	状況			備考	
	正職員	非常勤職員	臨時職員		
雇用契約 ・ 労使協定	労働条件の書面による提示	有	有	有	※書面の名称を記入
	就業規則の作成状況	有	有	有	※常時10人以上の労働者を 起床する場合は作成、届出 が必要
	労使協定の締結状況	有	有	有	※労働基準監督署長への届 出が必要な協定の有無
労働時間	所定労働時間	1週40時間	1週40時間	1週40時間	※幅がある場合は上限、下 限を記入
	時間管理の手法	出勤簿に押印	出勤簿に押印	出勤簿に押印	※タイムカード、ICカード、自 己申告、使用者の現認などの 別を記入
	休暇、休日の状況	交代制勤務により、勤務を要しない日に指定された日			※幅がある場合は上限、下 限を記入
給与	給与金額	308,720円	155,000円	138,000円	※平均月額を記入
	最低賃金との比較	適	適	適	※適否を記入
	支払い遅延等の有無	無	無	無	※有無を記入
安全衛生	一般健康診断の実施	選任の要否：無	選任状況：		
	産業医の選任	選任の要否：無	選任状況：		※規模の要件あり
	安全管理者の選任	選任の要否：無	選任状況：		※業種・規模の要件あり
	衛生管理者の選任	選任の要否：要	選任状況：選任あり（衛生推進者1名）		※規模の要件あり
	安全衛生推進者（衛生推進者）の選任	選任の要否：要	選任状況：選任あり（衛生推進者1名）		※業種・規模の要件あり

（参考）

- 労働基準監督署長への届出が必要な労使協定の例（労働基準法に基づくもの）
- ・労働者の貯蓄金をその委託を受けて管理する場合（労働基準法第18条）
 - ・1ヶ月単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の2 就業規則に定めた場合には届出不要）
 - ・1年単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の4、第32条4の2ほか）
 - ・1週間単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の5）
 - ・時間外労働・休日労働（労働基準法第36条 いわゆる「36協定」）
 - ・事業場外労働のみなし労働時間制（労働基準法第38条の2 事業場外労働が法定労働時間内の場合には不要）
 - ・専門業務型裁量労働制（労働基準法第38条の3）

○各種管理者等の業種・規模に係る要件（労働安全衛生法に基づくもの）

種別	業種	規模（常時使用する労働者数）
産業医	全ての業種	50人以上
安全管理者	林業、鉱業、建設業、運送業、清掃業、製造業（物の加工業を含む。）、電気業、ガス業、熱供給業、水道業、通信業、各種商品卸売業、家具・建具・じゅう器等卸売業、各種商品小売業、家具・建具・じゅう器小売業、燃料小売業、旅館業、ゴルフ場業、自動車整備業及び機械修理業	50人以上
衛生管理者	全ての業種	50人～200人（1人選任）
		201人～500人（2人選任）
		501人～1,000人（3人選任）
		1,001人～2,000人（4人選任）
		2,001人～3,000人（5人選任）
安全衛生推進者	安全管理者と同じ	3,001人以上（6人選任）
衛生推進者	安全管理者の選任を要する業種以外の業種	10人以上50人未満
		10人以上50人未満

7 サービスの向上に向けた取組み

区分	取組み内容
アンケートの実施	施設利用者にアンケートを記入してもらい、施設利用者の意見を求めた。

8 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートによる意見・提案・苦情等 ・友の会会員の提案 ・県民の声の苦情・提案 ・窓口での意見等受付
------------	---

利用者からの苦情・要望	対応状況
<ul style="list-style-type: none"> ・トイレを増やしてほしい。 ・入園料が高い。 ・雨でも遊べる室内遊具がほしい。 ・小さい子が遊べる広場がほしい。 ・飲食物が充実していない。 ・キャンプ場の一般利用期間を長くしてほしい。 	業務の参考としている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ベビーカーを押して歩く道がほしい。今の道は疲れる。 ・多目的ホールにもっとおもちゃを置いてほしい。 	27年度改善予定。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが飲める温かい飲み物を自販機においてほしい。 	改善済。

利用者からの積極的な評価
<ul style="list-style-type: none"> ・とてもよい施設。関西でもPRしたほうがよい。 ・滑り台はこの一円で一番の魅力を感じた。 ・何度も来ているが飽きない。 ・工房メニューの金額が安い。入園料が安い。 ・スタッフの方が親切で楽しかった。 ・クイズラリーが楽しかった。 ・迷路が楽しかった。 ・次はお弁当持ちで来たい。

9 指定管理者による自己点検

<p>【成果のあった取組み・積極的に取り組んだ事項】</p> <p>(1) 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントの開催、工房・遊園乗り物広場の運営などにより、年間を通して入園者の満足度の向上に努めた。 ・野いちごの道、レールトレイントンネルの整備、ハンギングバスケットの設置、売店・授乳室・室内の遊び場の改修などにより、入園者が楽しめ、利用しやすい環境作りを行った。 <p>(2) 利用促進に向けた取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページをリニューアルするとともに、フェイスブックによる情報発信に努めた。 ・友の会会員相互割引の実施、こどもの国入園料割引券の配布により利用促進を図った。 ・平日を利用した「大人向教室」、工房感謝デーなどを実施した。 <p>(3) 地域、団体等の連携状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わらべ館友の会との入園料相互割引、わらべ館・砂の美術館・当園の3施設連携によるクイズラリーを実施した。 ・「ゆるキャラ®カップin鳥取砂丘」「鳥取砂丘イリュージョンⅦ」を地元団体と連携して開催した。 ・日本海新聞社との共催事業「3Dアート☆ミュージアムinこどもの国」を夏休み期間に開催した。 <p>(4) 広報の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元新聞社、神戸新聞等イベントや集客強化圏域に効果的な広報を行ったほか、情報誌への情報提供、TV出演など積極的な広報に努めた。 <p>(5) 営業の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年5回「こどもの国ニュース」を県内・兵庫県北部・岡山県北部の保育園・幼稚園・小学校・観光施設に配布した。 <p>(6) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レールトレインの脱輪事故を受け、マニュアルの見直しや安全点検の強化など、危機管理に対する意識強化を図った。

〔現在、苦慮している事項〕	〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕
<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の老朽化が進むことに伴うもの、遊具の安全基準の見直しに伴うもの等、小修繕の管理経費が年々増加することは確実であり、施設設備の修繕は利用者の安全・安心の確保のため先行的に年度別に引き続き県と協議を行いながら改修等を行っていきたい。 ・大型遊具の更新も実施されたところであるが、魅力ある園づくりのため、遊具のさらなる新設・更新及び施設の改修等が必要な時期となっている。 ・地域・各種団体及び地元企業等と連携し、新たなイベント展開などで集客促進を図る。 ・子ども達にとって快適な環境づくりにより一層努めるとともに職員のスキルを十分に発揮し、多様化する利用者ニーズを反映した事業を総合的かつ積極的に実施したい。 ・多種多様なイベントに対応するために研修等を重ね更に職員のスキルアップを図りたい。 	

10 施設所管課による業務点検

項 目	評 価	点 検 結 果
〔施設設備の維持管理・緊急時の対応等〕 ○施設設備の保守管理・修繕 ○施設の保安警備、清掃等 ○事故の防止措置、緊急時の対応	3	○一部、複数年契約を導入するなど、経費削減に努めている。 ○施設設備の保守管理、修繕、事故防止措置については、必要に応じ県と相談の上、適切な対応を心がけること。
〔施設の利用の許可、利用料の徴収等〕 ○利用の許可 ○適正管理に必要な利用者への措置命令 ○利用料金の徴収、減免の実施	3	○利用許可は、適切に行われている。 ○利用料金の徴収、減免は、適切に行われている。
〔その他管理施設の管理に必要な業務〕 ○利用受付・案内 ○附属設備・備品の貸出し ○利用指導・操作	3	○利用受付・案内、附属設備・備品の貸出し及び利用指導・操作については、マニュアルに基づいて適切に行われている。
〔利用者サービス〕 ○開館時間、休館日、利用料金等 ○利用者へのサービス提供・向上策 ○施設の利用促進 ○個人情報保護、情報公開 ○利用者意見の把握・対応	4	○利用者意見の把握・対応については、アンケートにより把握し、その意見を業務に反映させるなど、積極的に業務改善を図る姿勢がみられ、適切な対応が図られている。 ○利用者数も、前年度から大幅に増加している。 ○その他については、協定書に沿って適正に実施されている。
〔収入支出の状況〕	3	○入園料の収入管理及び支出行為は、会計法令等に従って適切に行われている。
〔職員の配置〕	3	○指定管理業務を実施するために必要な人員が適切に配置されている。
〔会計事務の状況〕 ○不適正事案や事故等の有無 ○業務報告書(月次)における内部検査結果 ○利用料金等に係る適正な会計事務 (利用券、利用券管理簿の管理など) ○必要な規程類の整備 (会計規程、協定書等で整備が定められている規程など)	3	○協定書等で定める規程が整備されており、適正に会計事務が行われている。
〔関係法令の遵守状況〕 ○関係法令に係る行政指導等の有無等 ・労働関係法令 (労働基準、労働安全、障がい者雇用等) ・環境関連法令 (大気、水質、振動、廃棄物等) ・その他の法令 ○県内発注(鳥取県産業振興条例)	3	○現在、行政指導等を受けている事案はない。 ○委託業務等、県内業者への発注に取り組んでいる。
〔県の施策への協力〕 ○障がい者就労施設への発注	3	○障がい者就労施設から物品の調達(売店での販売物)に取り組んでいる。
総 括	3	○指定管理業務の内容は、おおむね協定書の内容どおりに実施されており、適切な管理が行われていると認められる。

- 《評価指標》 5：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画・目標を上回る実績があり、優れた管理運営がなされている。
- 4：協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。
- 3：おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
- 2：協定書の内容に対して不適切な事項が認められ、また、計画・目標を達成していない。
- 1：協定書の内容に対して重大な違反事項が認められる、指摘済みの不適切事項が放置されている、計画・目標、前年度実績を大きく下回っているなど、大いに改善を要する。
- ※総括欄は、各項目の平均の小数点以下第2位を四捨五入した数値を基本に、総合的に評価する。

別紙 1 利用料金

1 入園料

区分		一般人等	高校生	中学生	小学生以下
個人		500円	500円	200円	無料
団体	10人以上	450円	450円	180円	無料
	20人以上	400円	400円	160円	無料
学校行事		上記料金	250円	100円	無料

2 キャンプ場

区分	料金	
宿泊する場合	一般人(高校生を含む)	1人1泊につき 240円
	児童又は中学生	1人1泊につき 120円
宿泊しない場合	一般人(高校生を含む)	1人1日につき 120円
	児童又は中学生	1人1日につき 60円

3 キャンプ用品貸出料

区分	料金
キャンプ用テント	1張につき 400円
プロパンガスセット	1式につき 400円
鉄板	1枚につき 200円
バーベキュー鍋コンロ	1式につき 300円

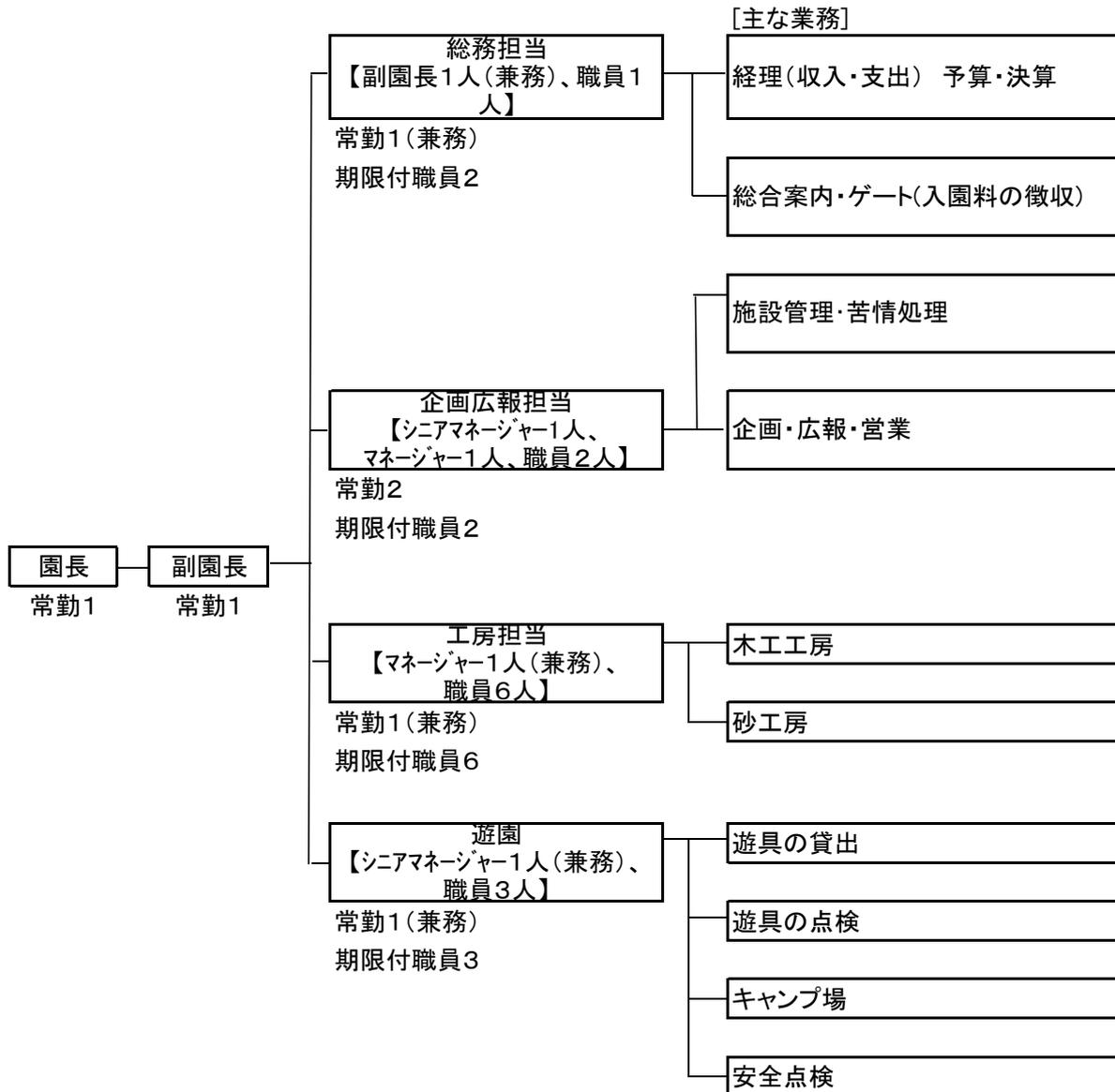
4 工房利用料

区分		金額	
砂の工房	本焼き	幼児、児童又は中学生の生徒	1人1回につき 300円
		高等学校の生徒、学生又は一般人	1人1回につき 400円
	スクラッチ	幼児、児童又は中学生の生徒	1個につき 150円
		高等学校の生徒、学生又は一般人	1個につき 250円
楽焼き	幼児、児童又は中学生の生徒	1個につき 50円	
	高等学校の生徒、学生又は一般人	1個につき 100円	
木工工房(工具を利用する場合)	木工	幼児、児童又は中学生の生徒	1人1回につき 100円
		高等学校の生徒、学生又は一般人	1人1回につき 150円
	ガラス細工	幼児、児童又は中学生の生徒	1人1回につき 50円
		高等学校の生徒、学生又は一般人	1人1回につき 100円

5 乗物利用料

区分	金額	
変形自転車	1人1回につき 100円	
バッテリーカー	1人1回につき 100円	
周回コースバッテリーカー	1人1回につき 200円	
サイクルモノレール	1人1回につき 100円	
レールトレイン	満3歳から中学に入学するまでの者	1人1回につき 100円
	中学校若しくは高等学校の生徒、学生又は一般人	1人1回につき 200円

別紙2 こどもの国管理体制(平成26年4月1日現在)



常勤	4人
期限付職員	13人
合計	17人